

部会の活動報告

令和6年度第1回(通算第9回)海域・陸域対策部会

開催日時: 令和6年8月23日 14:00～16:00

方式: オンラインおよび現地のハイブリッド会議

参加者数: 35名(事務局含む)

議事:

(1) 委員の取組紹介

「サトウキビ栽培における生産性向上と環境保全の両立に向けて～深植栽培と有機物活用～」

安西 俊彦 委員(国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター)

(2) 行動計画 重点項目1「陸域負荷の低減」について

(3) その他

(2) 行動計画 重点項目1「陸域負荷の低減」について

1) 各成果指標について、関係行政機関へのヒアリング結果を元に利用できるデータを確認、検討した。

- ・生活排水処理人口増加: 市下水道課が毎年整理、報告している接続者数の数値
- ・栄養塩の地域循環: 排せつ物法に基づく堆肥舎チェック結果、堆肥センター生産量、コミュニティ循環の量 等
- ・普及啓発: 指導点検、セミナーや普及啓発イベント実施
→ 第2回部会で関係行政機関よりデータを提供する方向で調整することとなった

2) 取組推進にかかる課題を共有した。

- ・生活排水処理人口増加: 下水道接続費用が高額、下水道工事の引き受け手が不足 等
- ・栄養塩の地域循環: 堆肥価格が高額、必ずしも堆肥利用に適さない土地がある 等
- ・その他の課題: サトウキビ栽培の今後、竹富島内ビーチでの日焼け止めの影響 等

令和6年度第1回(通算第9回)普及啓発・適正利用部会

開催日時: 令和6年8月29日 14:00～16:00

方式: オンラインおよび現地のハイブリッド会議

参加者数: 24名(事務局含む)

議事:

(1) 行動計画2024-2028 重点項目2

「石西礁湖における持続可能な観光利用ガイドラインの作成と活用」について

(2) 行動計画2024-2028 重点項目3「八重山地域の子どもたちへのサンゴ学習の推進」について

(3) その他

(1) 行動計画2024-2028 重点項目2

「石西礁湖における持続可能な観光利用ガイドラインの作成と活用」について

1) 関係する取組の紹介

- ・西表島エコツーリズム推進全体構想に基づく海域利用ルール(西表財団より紹介)
- ・マンタシティ利用ルール(八重山ダイビング協会、代理し事務局より紹介)
- ・条例作りや漁業者とマリン事業者の観光での連携の模索(和泉委員より紹介)
- ・沖縄県事業での事例集作成および石垣島勉強会(沖縄県自然保護課、代理し事務局より紹介)

2) ゴールの方向性、役割分担

- ・すでに取り組んでいる方々が動きやすく、遵守する人が損をしないガイドライン
 - 利用者がよい業者か見極めるための情報発信、普及啓発が重要
- ・広域で共通する課題＋石西礁湖特有の課題に対応する必要
 - 石西礁湖の観光の現状把握が必要
- ・関係者の打合せを実施予定。Discord等で議論を促進

(2) 行動計画2024-2028 重点項目3

「八重山地域の子どもたちへのサンゴ学習の推進」について

1) サンゴ学習の定義(案) 以下が考慮された学習プログラムを「サンゴ学習」と定義する。

1. 以下のすべての項目が学習内容に含まれている。

- ・サンゴは動物であるが、共生藻による光合成で栄養の大半を得ている。
- ・サンゴは石灰質の硬い骨を持ち、その骨が長い年月をかけてサンゴ礁を形成する。
- ・サンゴはサンゴ礁生態系の基盤であり、生物多様性の高い環境を構成している。
- ・サンゴ礁生態系は陸からの影響を受けやすく、様々な環境問題に直面している。
- ・サンゴやサンゴ礁は漁業、観光、文化などにより人の暮らしとつながっている。

2. 前記1. の項目を体験学習法※により対象者へ伝え、サンゴ礁保全へ向かう行動変容を促す構成となっている。

※ 体験学習法：あらかじめ決まった知識を伝授するのではなく、学習者が主体となって学習活動に取り組み、疑問、発見、葛藤などを学習の題材とする教育手法。

(2) 行動計画2024-2028 重点項目3

「八重山地域の子どもたちへのサンゴ学習の推進」について

2) 事例紹介

- ・ 小学校、中学校での環境教育の一覧(石垣市教育委員会)
- ・ 教員へのサンゴ学習(わくわくサンゴ石垣島)
- ・ 高校生への学習(八重山商工などの事例)
- ・ 石垣市シン・サンゴレンジャーのサンゴ勉強会、フィールドワーク

→ 体験学習に留まっている取組について、今回定義したサンゴ学習の要素を組み込むことを検討

令和6年度第1回(通算第9回) 学術調査部会

開催日時: 令和6年8月30日 10:00~12:00

方式: オンラインおよび現地のハイブリッド会議

参加者数: 24名(事務局含む)

議事:

- (1) 学術調査部会作業チームの開催報告(資料3-3参照)
- (2) 2024年夏季のサンゴ白化について
- (3) 行動計画2024-2028 重点項目の取組について
- (4) その他

(2) 2024年夏季のサンゴ白化について

1) サンゴ群集モニタリング調査より

- ・2024年の石西礁湖の水温変動: 白化があった2016年、2022年よりも早く30°C以上に到達し、7月20日には2016年、2022年よりも高い31.9°Cとなった。
- ・モニタリング31地点の多くで白化を確認
- ・白化の程度は地点により異なる

2) 石西礁湖サンゴ群集修復試験より

- ・ネットによる遮光試験を実施→ 遮光区で白化率が低い傾向(解析、追加調査中)
- ・崎枝湾の深場への待避試験を実施→ 8月下旬で顕著な白化なし

(3) 行動計画2024-2028 重点項目の取組について(提案、意見交換)

1) 陸域負荷の低減

- ・人口やインバウンド増加への対応として利用者負担も検討:パラオなどの海外事例を参考
- ・堆肥に適した作物をサンゴに優しい作物として付加価値付け
- ・閉鎖的かつ観光客が集中する海域でのトイレ問題。影響調査しガイドライン作成を検討
- ・生活排水、赤土流出対策等に関する行政の理解とさらなる推進が必要

2) 観光利用ガイドライン

- ・レジャーダイバーが撮影した画像や、ダイブコンピュータの水温データの活用
→協議会からの発信として研究者を募集